



放課後児童クラブ 終了時間の延長を

高松 幸雄 議員

大変重要であり、検討が必要だ
市長

近隣自治体の放課後児童クラブ終了時間			
	終了時間	延長料金	利用料(月額)
愛西市	午後6時30分まで	なし	6,000円
稲沢市	午後7時15分まで	なし	4,000円
津島市	午後7時まで	なし	1万円から1万4,000円
あま市	午後7時まで	1日100円	5,000円
弥富市	午後6時30分まで	なし	5,000円

▲近隣自治体の放課後児童クラブ終了時間

問 帯状疱疹予防接種は、保険適用がなく、自費となり高額である。ワクチンの接種費用と名古屋市の帯状疱疹ワクチン接種助成の状況は。

答 ワクチンには、不活化ワクチンの2回接種型約5万円と、生ワクチンの1回接種型約1万円がある。

名古屋市は、不活化ワクチン1回当たり1万800円を2回、生ワクチンには4200円を1

問 本市の放課後児童クラブの開設時間は。

答 平日は下校時から午後6時30分まで、土曜日や夏休みなど小学校の休業日は午前7時30分から午後6時30分まで。

問 近隣自治体の開設時間と利用料、延長料金は。

答 稲沢市、午前7時30分から午後7時15分まで、利用料は月額4千円、延長料金なし。津島市、午前8時から午後7時まで、利用料は学年に応じて月額1万円から1万4千円まで、延長料金なし。あま市、午前7時30分から午後7時まで、利用料は月額5千円、延長料金1日100円。弥富市、午前8時から午後6時30分まで、利用料は月額5千円、延長料金なし。

問 時間を午後7時まで延長すると人件費はどのくらい必要か。

答 30分間延長することで、1施設当たり職員2名の配置が必要になり、16施設合計で約530万円が必要。

問 児童クラブの時間延長について市長の考えは。

答 時間延長は、大変重要であり、子育て世代から支持されるまちの実現を目指して検討が必要だ。

問 名古屋市の昨年度のワクチンの接種助成実績からみて、本市ではどれくらいの費用が必要か。

答 578万4千円。

問 名古屋市でも帯状疱疹ワクチンの接種費用を助成する考えはないか。

答 国、県による補助事業になれば、近隣市町村の動向を見極めながら実施について検討したい。